アイセル 21 静岡市女性会館 情報誌

WAVE

誰もが自分らしく生きる社会を実現するために。

vol.93
2020.11
TAKE FREE

contents

男女共同参画週間記念講演会 P2
interview コロナ禍 働く母親のギアチェンジ P4
心がざわつくあなたへ
これってDVかも？と思ったら P5
AICEL TOPICS P6
これからの講座のご案内 P7

2020.9.27開催「先パイ女子の文理選択」の一場面

静岡市女性会館は、女性も男性も誰もが自分らしく幸せに生きることができる社会を目指し、課題解決型事業に取り組んでいます。現在は、「女性の就業継続の応援」「困難を抱える女性のエンパワーメント」「男性にとっての男女共同参画の推進」の3点に重点を置き、男女共同参画社会の実現に力を注いでいます。

編集
発行
静岡市女性会館

発行年月：2020年11月 編集・発行：静岡市女性会館（指定管理者NPO法人男女共同参画フォーラムしずおか）

図書コーナーご案内

図書コーナーは、男女共同参画社会実現のために、情報の力で女性をエンパワーメントすることを目的とした女性問題の専門図書室です。
図書・情報の専門スタッフが、より良い人生をすごしていただくためのお手伝いをします。
女性、男性を問わずご利用ください。

- ◆場　　所　静岡市女性会館1Ｆ
- ◆利用時間　9:00～19:00
- ◆休 館 日　・第2・4月曜日
  ・年末年始、蔵書点検
  ・図書整理日ほか
- ◆貸出点数　・図書、雑誌あわせて10点
  ・CD、カセットあわせて2点まで
- ◆貸出期間　2週間
- ◆貸出方法　貸出には図書コーナー専用の利用者登録カードが必要です。免許証、保険証など公的機関発行の証明書をお持ちくだされればその場で発行します。

相談無料
秘密厳守

女性のための総合相談

ひとりで悩まないで、まずはお電話を

結婚・離婚、恋愛、夫婦のこと、親との関係、子どもとの関係
ＤＶ、暴力・虐待、セクハラ、職場の人間関係、経済的困窮
妊娠・出産、子育て、これからの生き方など…

女性の相談員があなたの気持ちを尊重し、一緒に解決を目指します。

受付時間	火	水	木	金	土
10:00～13:00	○	○		○	○
14:00～18:00	○	○	14:00～20:00	○	

電話相談の事前予約は不要です。まずはお電話ください。

女性会館 相談専用ダイヤル 054-248-1234

●女性相談員による面接相談（予約制／1回 50分）
電話相談のあと、ご希望や必要に応じてご利用いただけます

●女性弁護士による法律相談（予約制／1回 30分）
第1土曜日・第3木曜日　14:00～17:00
弁護士への相談がスムーズにできるよう、電話相談で受け付けています。

面接・事前申込予約制 40代以下の女性のための 就職・転職・キャリア相談

まずはお電話でご予約ください。事前に相談シートをお送りします。

●申込受付日時／同月の1日（1月のみ5日）12:30より
●面談日／毎月第3水・金・土曜日 ①10:30～11:20　②13:30～14:20（1回50分）

女性会館事務室 054-248-7330

アイセル21　にじいろ電話相談

セクシュアリティや性別違和で悩んでいる方、または周囲の方からのお話を伺います。

■恋人やパートナーのこと
■誰にも話せなかったこと
■これまでの自分・これからの自分のこと
■学校、職場でのこと
■家族のこと　　など

毎月第2土曜日　14:00～17:00

054-248-2216（にじいろ）

静岡市女性会館 アイセル21

所在地　静岡市葵区東草深町3-18
会館時間　9:00～21:30
休館日　第2・4月曜日
年末年始（12月28日～1月4日）
TEL　054-248-7330
FAX　054-246-7833
E-mail　mail@aicel21.jp
HP　https://aicel21.jp

バス
JR 静岡駅北口10番のりば
県立病院高松線
「アイセル 21」前下車

徒歩
JR 静岡駅北口より30分
静鉄新静岡駅より20分
日吉町駅より15分

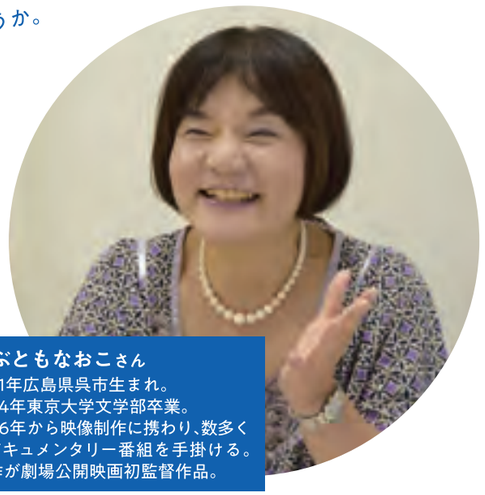
男女共同参画週間記念講演会

「ぼけますから、よろしくお願いします。」だれもが言える社会へ

同名ドキュメンタリー映画監督・撮影

信友直子さん

新型コロナウイルスの対応で、静岡市女性会館では約4ヵ月にわたり、事業の延期・中止を余儀なくされました。7月23日に開催の講演会『ぼけますから、よろしくお願いします。』は、再開第1号企画となりました。大学入学を機に広島県呉市の故郷を離れて以来約30年間、都会で映像業界の第一線を走りつづけてきた信友さん、母親の認知症をきっかけに、いかに年老いた両親と向き合い、社会を見つめ直したのでしょうか。



のぶともなおこさん
1961年広島県呉市生まれ。
1984年東京大学文学部卒業。
1986年から映像制作に携わり、数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。
本作が劇場公開映画初監督作品。

映画上映会で全国を走り回っていた信友さんにとっても、3月以降の予定がすべてストップしているなか、久しぶりの舞台です。心なしか震えている声に、緊張されているのかと思いきや、6月14日に母文子さんを亡くされてまだ四十九日にもならないことが壇上で明かされます。本や映画で文子さんの存在を身近に感じていた参加者も多く、会場のあちこちで涙を拭く姿が見られました。

「母との別れは確かにつらかったですが、ちょうど病院の面会も再開し、心置きなくお別れすることができて良かったと思っています。父も今日の講演会に立つことをとても喜んでくれました」。99歳になった今も呉市で一人暮らし、コーヒーを煎れて人をもてなすのが大好きで、新聞4紙を購読して調べものにも熱心な父良則さん、本や映画を通してファンになった人は数知れません。

横浜に住む信友さんが離れて暮らしている両親の映像を撮るきっかけとなったのは、まだ2人が元気な70代であった2000年のことです。「家庭用ビデオの性能がすごくよくなって、カメラマンを同行せず、ひとりで取材することで、より自然体の被写体が取材できるのではと考えました。両親をその練習台にしたわけですね」。最初は緊張していた2人もすぐに慣れ、直子さんは帰省のたびにカメラを回すようになります。

「今思えば、元気なうちから撮っていたからこそ、ぼけてしまった後との対比もできたし、ユーモアがあって何でもできた頃の母を皆さんに知ってもらうこともできました」。

介護サービスを拒む父と自暴自棄になる母

最初に文子さんの異変に気付いたのは2012年です。同じことを繰り返したり、バナナがないと言うので買って帰れば家にたくさんのバナナがあったり、遠慮がちに認知症の検査を勧めると、意外にも文子さんは乗り気でした。「以前、私が若年性認知症のドキュメンタリー番組を作ったことがあって、そこで出ていたテストを予習していたから自信があったんです」。実際、文子さんは30点満点中29点という好成績をおさめ、「やっぱり認知症じゃなかった」。ほっとして友人や主治医に言って回る姿に、複雑な思いはしたものの、しばらく様子を見ることにしましたが、2年後にあらためて検査を受け、下された診断はアルツハイマー型認知症でした。

良則さん93歳、耳が遠くなっていました。娘は独身でフリーランス、簡単に仕事を辞めて帰るわけにもいきません。そこで介護サービスを勧めますが良則さんは頑なに拒みます。他人を家に入れる不安、自分のことは自分で何とかせねばの昭和気質に結局は折れますが、ここからが「後で振り返れば最もつらい2年間」になってしまいました。耳が聞こえない父と、自分が自分でなくなっていくのをどうにもできない母、ひきこもりがちになり、家事もままならず荒れ放題の家に時折帰省する娘もひどく落ち込みます。

ある日、怒った文子さんが声を荒げました「もう出ていく！」。良則さんも言い返し、「なんじゃ？わしは耳が聞こえんのじゃ！」。このどうにもならない煮詰まりの瞬間、信友さんはふと冷静になり、つい笑ってしまいました。

娘が笑顔を見せたことで、両親も心が軽くなったのか、ふと顔がほころびました。どんな状況でも笑っていられること、介護する側が明るい気持ちで自分を受けとめてくれることが、介護される側にとってもどれだけ大事なことであるか、信友さんがはっきりと悟った瞬間でした。

介護サービスで再び社会に開かれた家族

2016年にテレビ番組で2人を取り上げることになり、介護サービスを再び提案して良則さんとぶつかります。しかし番組として提供する以上、介護の情報を入れないわけにはいきません。結局、番組をきっかけに知り合ったケアマネジャーやヘルパーと知り合った老夫婦は、みるみる打ち解け、「他人」の介護をすんなりと受け入れるようになります。

「結局、人対人なんですね。○○さんと、ちゃんと名前を呼びあえる、呉弁を話す『人』として接して親しくなることで、垣根はすぐに取り払われました」。この2年間はなんだったんだろう。地域包括支援センターにつながり、介護サービスを受けることで、どん底にいた信友家はあらためて社会との接点を持ちました。

出かける直前まで渋る文子さんですが、デイサービスの迎えの人を見たとたんご機嫌になります。良則さんも、半日、介護から解放されることでリフレッシュできます。信友さん自身、それまでは介護を他人に任せる罪悪感からずっと逃れられずにいましたが、取材で知り合った医師の言葉に救われました。「介護はプロの人とシェアしなさい。家族ができる仕事はただひとつ、どんな状態になっても変わらぬ愛情を持ち続けることです」。現実ではなく考え方を変えていけばいいんだ！

会場のあちこちからは笑いあり、時には涙あり＝7月23日アイセル21ホール

だれもが手を差し伸べ、差し伸べられる社会に

「人生は『寄り』で見ると悲劇だが、『引き』で見れば喜劇である（チャップリン）」。ぼけたおばあさんと耳の遠いおじいさんの老々介護と遠距離の娘。近視眼的に見ればつらくても、カメラを通して見れば、悲しみばかりではないことに気づきました。

「認知症になったから、いいえ、ならなければ気づけなかったこともたくさんありました」。気の合う母娘同士で仲良くつるんでいた一人娘にとって、寡黙な父はそこにいるだけの存在でした。しかし90歳を過ぎて初めての家事に介護に奔走する姿に目を見張り、話し合うことを通して、50年目にして父娘の絆は深まりました。

『ぼけますから、よろしくお願いします』。タイトルを見たとき、言われた相手は息子か娘、あるいはその配偶者と当然理解します。しかし、このタイトルに込められたのは、かつて文子さんが娘に言ったこのユーモアあふれる言葉を、だれもが安心して言え、だれに言われても安心して受け入れられる社会になってほしいという強い願いです。

「母を亡くして家族のいない自分、これからどうやって生きていけばいいでしょう」。講演が終わり、会場から質問がありました。「実は私も父がいなくなったら天涯孤独なんですよ。どうしましょうかね。母方の祖母と母がアルツハイマーだったんで、自分もそうなるかもしれませんね。そうしたら私、自分で自分を撮ろうかなって、今ちょっと思っているんです。もう自分で何もわからなくなっちゃったら、その映像をまとめてもらえるように頼んでいる人もいて…そう思うとなんだかそれも楽しみなんですよ」。

ジェンダー川柳
2020
優秀作品

上司出せ！　出たら今度は　男出せ？（休鶏）

妻寝込み　名も無き家事の　意味を知る（さわさわ）

手伝うよ　共働きで　よく言うよ（父はランナー）

「おーいお茶」　売ってますから　買ってきて（桃李）

「そんなこと　男ができるか」　やるんです（まろりん）

女性会館では、6月23日からの男女共同参画週間にちなんで今年も「ジェンダー川柳」を募集しました。全国から一四〇六句のご応募をいただき、選考委員により入選作品30句が決定。館内ギャラリーおよびWEB上で入選作品を発表し、一般投票を実施しました。今年は審査委員長に落語家で僧侶の露の団姫さんにご就任いただき、一般投票の結果と合わせて、最優秀作品1句と優秀作品4句を選びました。このほかの入選作品はホームページでご覧ください。

2020年審査委員長
露の団姫さん

SPECIAL INTERVIEW

コロナ禍　働く母親のギアチェンジ

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、「テレワーク」や「在宅勤務」が推奨されましたが、そのことは働く母親にどのような影響をもたらしたのでしょうか。女性が少ないMR（医療情報担当者）として働き続け、学校の休校と同時期に在宅勤務となったアイセル女性カレッジ14期生の小牧朱美さんにお話を伺いました。

製薬会社MR
小牧 朱美さん

【プロフィール】
大阪市出身。大学では経営学を学び、卒業後外資系製薬会社に就職。2人目の育休中に夫が静岡に転勤になり、一緒に静岡へ転入し、第14期アイセル女性カレッジを受講。2018年に、配偶者の転勤先に異動できる制度を活用し静岡営業所へ。現在は、小2と年中の子育てのため時短勤務中。

オンライン化をプラスに

―MRの仕事内容を教えてください。

医療機関を訪問し、自社の医薬品の適正使用のための情報を提供するほか、医療現場から医薬品の効き目や副作用などの情報を収集して会社に報告するのが主な仕事で、直接医薬品を販売することはありません。私は市内の開業医を担当しており、当社では基本、直行直帰なので、働きやすいです。

―コロナ禍で働き方は変わりましたか。

3月初旬から6月末まで、医療機関への訪問と対面での会議が自粛されたため、これまでより在宅で仕事をする時間が増え、会議や研修はすべてオンラインになりました。医療機関を訪問して情報を伝えるのが主な仕事なのに訪問ができなくなって、「今、自分たちには何ができるのか」「訪問以外で医師にどう情報を提供したらいいのか」などを話し合ったり、普段は年に1度くらいしか会えない幹部の人に意見を聞いてもらったりしました。訪問が解禁された今も、会議はオンラインが標準になったので、そのための出社の必要がなくなったのは、子育て中の私にとってはありがたいことです。移動時間の分をほかの用事に有効に使えますから。

―在宅勤務で大変だったことは。

学校が休校になり、夫も在宅勤務になったため、家族4人分の3度の食事の支度が本当に大変でした。オンライン会議の時間が昼食時間にかかりそうなときは、子どものお弁当を作っておいてから会議に臨むこともありました。会議の時間設定については、もっと上司と相談すればよかったかなと思います。日頃から同じような立場の仲間と、上司や同僚の支援を引き出すコミュニケーションの仕方などを共有しておく必要があると感じました。

―非常時を経て、子育てをしながら安心して働き続けるために必要なことは。

様々な情報が飛び交う中で「冷静になること」「ひとりで抱え込まないこと」が必要だと思いました。アイセル女性カレッジの14期生のオンライン交流会も在宅勤務期間中に2回開かれ、気分転換にもなったり、視野も広がったり、相談にも乗ってもらえてありがたかったです。コロナとは直接関係ありませんが、子どもの食事と睡眠には普段から気をつけています。子どもが病気になったらすぐ仕事に影響しますから、子どもも自分も病気にならないためのからだづくりを心掛けています。

―うれしい報告があるそうですね。

昨年度、約千人いるMRの上位20人に選ばれ、営業成績優秀者として表彰されました。ただ、残念なことに、家族も一緒に招待される表彰パーティーがコロナの影響で中止になってしまいました。実は独身時代にも一度表彰されたことがあるのですが、今回は、子どもたちと一緒にパーティーに出ることを目標にがんばってきました。子どもに「ママが働いているから、学童に行かなきゃいけないの？」と言われたことがあり、会社のことや私が好きな仕事をしているということを伝えられる場になるのではないかと思って…。だから、選ばれた時は本当にうれしかったのですが、子どもに晴れ舞台を見せることができず残念でした。

＊＊＊

一人目の育休復帰後は「マミートラックに陥ってモヤモヤしていた」からこそ、二人目の復帰の時は、時短勤務でも仕事できちんと成果を出したいと、カレッジでは「スムーズな育休復帰」に関する課題に取り組み実践した小牧さん。オンライン会議が当たり前になって、隙間時間を有効に使えるようになり、気持ちにも余裕が生まれたそうです。仕事を通して、患者さんにどう貢献していくかを追求していきたい、と次のステージに走り出しています。

アイセル女性カレッジとは…

静岡市が1993年からはじめた女性の総合人材育成講座。当初は地域のリーダー育成を目指していたが、第11期からは働く女性の人材育成にシフト。小牧さんが受講した第14期のテーマは「戦略的キャリア形成プロジェクトⅡ～視野とネットワークが広がる10日間～」これまでの修了生は延べ320人。現在、第17期が開講中。

毎年11月12日～25日は女性に対する暴力をなくす運動期間

心がざわつくあなたへ
これってDVかも？と思ったら

普段からパートナーの機嫌が気になったり、大声で怒鳴られて怖い思いをしたりしても、「いつもはいい人だから」とか「怒らせた私が悪い」と思っていませんか。
女性会館の相談室では「夫のDVに悩んでいます」という声が多く聞かれるようになりました。コロナ禍によるストレスで、DVの増加や深刻化が心配されています。DVについて正しく理解し、パートナーとの関係に少しでも疑問を感じたら、立ち止まってみましょう。

DVとは、配偶者や恋人など親密な関係において、相手を自分の思い通りに支配しようとして用いる威圧的な行為（暴力）のことをいいます。

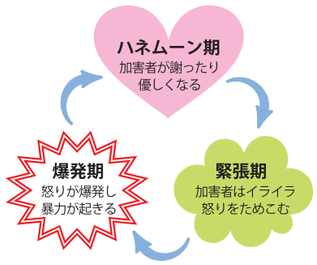
暴力には、「殴る」「蹴る」のような**身体的な暴力**だけでなく、「怒鳴る」「馬鹿にする」「無視する」などの**精神的な暴力**、「生活費を渡さない」「外で働くことを嫌がる」などの**経済的な暴力**、「自由に外出させない」「スマホをチェックする」などの**社会的な暴力**、「避妊に協力しない」「望まないセックスを強要する」などの**性的な暴力**、「子どもの目の前で暴力をふるう」「子どもに危害を加える」などの**子どもを巻き込んだ暴力**など、様々なかたちがあります。日常的に暴力のある生活をしていると、それを暴力と認識しにくくなるという特徴もあります。

このほかDVには、左図のようなサイクルがあります。怒りが爆発し大きな暴力が起こったあとに、加害者が謝ったり、別人のように優しくなったりするハネムーン期がやってくることで「やり直せるかも」と期待してしまうのです。でも、しばらくすると加害者が怒りをためる時期が訪れます。この時、被害者は加害者の顔色を見ながら非常に緊張感のある生活をすることになります。そして、ためこんだ怒りが爆発するというサイクルの中で暴力は繰り返されるのです。

暴力を受け続けると、力を奪われ、これまでできていたことができなくなったり、誤った判断をしてしまったりすることもあります。精神的に不安定になり、知らないうちに心に深い傷を負うことになります。暴力をふるわれているあなたは決して悪くありません。

少しでも心のざわつきを感じたら、女性会館の相談室に電話してください。ひとりで悩まないでください。相談室の詳しい案内は、8ページにあります。

DV のサイクル



講座終了レポート

9/3
男子厨房に入る！ カンタン男飯入門

妻の介護が必要になった時や1人になった時に備えるために、簡単にできる家庭料理を、アイセルで活動中の男性料理サークル「おやじの料理」の講師・田森稔浩さんに教えていただきました。60代～70代の男性10名が、包丁の持ち方、材料の切り方等のレクチャーを受けた後、「生姜焼き定食」を最初から最後まで1人で作り終えることに挑戦。「妻が要介護になった場合、食べることは毎日のことなので困る。これを機会にふだんから台所に立ちたい」との声が聞かれました。

9/5
宅コスして真面目に学ぶ 多様な性のコト

オーボエ奏者・コスプレイヤーのよねちさん、和男装・文筆家のまきむぅさん、社会学者の石田さんの3名から、多様な性と装いについて話していただきました。まず石田さんから多様な性について分かりやすく解説していただき、参加者と講師がチャットで活発に意見交換をしました。多様な性について、それぞれが抱えている葛藤や想いを共有できたことで、参加者同士の繋がりを深め、さらに自分らしさを認めていこうと思えるイベントになりました。

9/27
先パイ女子の文理選択

進路を決める第一歩である文理選択。会場には20人を超える女子中高生が集まりました。ご自身もリケジョである静岡大学学術院准教授の鮫島玲子さんをファシリテーターにむかえ、食品栄養科学部・薬学部・医学部・教育学部理科専修の大学生4名が白衣で登場。「いつ頃、文理選択を決めたか」「なぜ理系に進んだか」「大学や学部はどうやって決めたか」など、自身も悩んだり努力したりしながら選択してきた経験を等身大の言葉で分かりやすく話していただきました。

AICEL TOPICS

インスタグラムで絵本を紹介

4月から、図書コーナーのキッズスペースで絵本の読み聞かせを行う予定でしたが、コロナ禍のため延期せざるを得ませんでした。そこで、何か絵本の楽しさをお届けできないかと、インスタグラムで紹介する動画の配信を行いました。動画は全5回。「季節の絵本」「赤ちゃん向けの絵本」、「ジェンダーの視点で選ぶ絵本」「3歳以上のお子さま向けの絵本」「食べ物の絵本」などをテーマに、図書コーナーの司書おすすめの絵本を紹介しています。読み方のアドバイスや絵本選びのお悩みなどにもお答えしています。女性会館指定管理者NPO法人男女共同参画フォーラムしずおかのインスタグラムからいつでもご覧いただけます。是非フォローして覗いてみてくださいね。

FORUMSHIZUOKA

コロナに負けない！暑さに負けない！集中自習室オープン

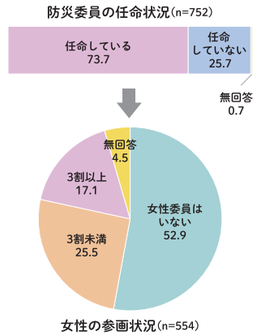
女性会館では、緊急事態宣言後、貸室の利用を休止していましたが、6月9日に利用を再開しました。感染予防のため、貸室の利用に制限が設けられたためか、感染を心配してか、活動を控える団体が多く、利用率は低迷。そこで利用されない空室を有効活用しようと、夏休み終盤の8月17日(月)から21日(金)に、中学生以上を対象にした「学生のための集中自習室」を開設しました。スタッフが2時間交替で当番をし、学生の検温、手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確認や換気をしました。学生には、使う机やいすを自分で消毒することで、新しい生活様式を実践してもらいました。突然決めたことなので、利用者は少なかったですが、何年か経ってここで勉強した夏の一日を思い出し、また講座や貸室利用などで来てもらえたらうれしい限りです。

インターン生がやってきた！女性会館の仕事を体験

今年度のインターンシップは、大学3年生計4名が、静岡大学、常葉大学、都留文科大学、東北芸術工科大学から参加しました。5日間で、主催講座の準備から運営補助、アンケート集計まで一通り体験し、女性会館の事業について学びました。オンライン講座を実施する際は、大学の授業でも使用しているZoomをスムーズに使いこなし、即戦力として活躍。さらに自分で講座の企画を立案する体験も行いました。また図書コーナーでは、女性専門書を主に取り扱うことへの理解を深め、講座企画を立てる際は十分に活用できました。最終日に行った講座企画の発表では、それぞれ社会問題について入念に調べ、その問題を解決するための一助となる講座を、若く新しい視点で発表。世代が変われば社会問題の感じ方も一様ではなく、スタッフも貴重な視点を知ることができました。

自主防災会アンケートより女性の防災委員を3割以上に

内閣府が2013年に発表した「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」で「主体的な担い手として女性を位置づける」ことが明文化されたのをきっかけに、全国各地で防災活動への女性の参画が進められました。女性会館では昨年、各区地域総務課協力のもと、市内の全自主防災会を対象にアンケートを行い、女性の参画状況を調べました。単位自主防災会の会長における女性比率はわずか3.7%。防災委員を任命している組織73.7%のうち半数以上は女性委員がいません。女性委員が3割以上いる組織は現在17.1%ですが、女性会館ではこの割合を増やす提案をしています。アンケート結果は女性会館HPでダウンロードまたは市内図書館で閲覧できます。今年5月に発表された内閣府作成の「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」も参考に、防災活動への男女共同参画を進めましょう。



これからの講座のご案内　2020年12月～2021年3月

シングルマザーのためのプレゼント講座

シングルマザーと子どもたちが安心して暮らせる社会を願いプレゼント講座を企画しました。市担当職員からは臨時特別給付金の追加給付について、ひとり親支援の団体からは困った時に頼れるサポート情報を紹介します。希望者は日頃の疲れを癒すリフレッシュ・ヨガも体験できます。

- 日　時　12月20日(日) 10:00～12:00
- 対　象　18歳以下の子どもを持つシングルマザー18人
- 講　師　市子ども家庭課職員 田中志保さん(Single Parent101代表)
- 参加費　無料
- 託　児　要申込み(1歳～小学校3年生) 無料
- 申込み　12月1日(火)10:00から電話またはHPで(申込順)

Jo-Shizu(静岡女子)防災講座 私の声を地域に活かす

女性会館発！女性の視点を生かした防災知識とノウハウが身につく人気の連続講座(全5回)を、3年目の今年は清水区の会場で実施します。女性支援の専門家から、災害、復興の実状や女性が力を発揮する必要性を聞き、今から私たちができることを考えます。

- 日　時　1/9、23、2/6、20、3/6(いずれも土) 13:30～16:30
- 対　象　静岡市在住の女性15人
- 会　場　清水区役所、清水テルサ
- 講　師　木須八重子さん(元仙台市宮城野区長)ほか
- 参加費　無料
- 託　児　要申込み(1歳～未就学児) 子ども1人につき500円
- 申込み　12月17日(木)17:00までに電話またはHPで(多数選考)

アイセル女性カレッジ公開講座 挑戦する女性たち 政治で世界を変える

「50代から始めるセカンドキャリアデザイン」をテーマに開講中の「女性カレッジ」公開講座。日本の政治分野のジェンダーギャップ指数は153カ国中144位。女性の政治参画が叫ばれる中、地域で奮闘する女性議員の皆さんが、思いを行動に変えた原動力について語り合います。

- 日　時　1月16日(土) 13:30～15:30
- 対　象　どなたでも15人
- 講　師　各市議会議員の皆さん 秋山博子さん(焼津市) 小沢映子さん(富士市) 佐藤せい子さん(静岡市)
- 参加費　無料
- 託　児　要申込み(1歳～未就学児) 子ども1人につき500円
- 申込み　12月1日(火)10:00から電話またはHPで(申込順)

意見や意思を引き出すメタファシリテーション体験(オンライン講座)

ダイバーシティの推進を背景に、女性や外国人、高齢者など異なる立場の人の文化や価値観の違いを理解し、コミュニケーションを上手に図ることが求められる管理職。気づきを促し、自ら課題解決に向かって動き出す方向へ支援するメタファシリテーションを体験します。

- 日　時　2月5日(金) 14:00～16:00
- 対　象　リーダー、管理職、人事担当者など20人
- 会　場　オンライン(Zoom)
- 講　師　前川香子さん(認定NPO法人ムラのミライ事務局次長)
- 参加費　無料
- 申込み　1月12日(火)10:00からHPで(申込順)

※会社・ご自宅からオンラインで受講いただけます。

身近な人がアスペルガーかな？と思ったら ～知っていればお互いラクになる方法～

身近な人(夫・家族)との関係で、不安や怒り、孤独を感じていませんか。周囲の人に話しても「あなたの我慢が足りないのでは?」と言われて罪悪感が増すばかり…。理解されにくい家族の問題に潜む「発達障がい」について正しい理解と対処方法を考えます。

- 日　時　2月27日(土) 13:30～15:30
- 対　象　女性20人
- 講　師　櫻田万里(SORA)(アスペルガー・アラウンド代表)
- 参加費　無料
- 託　児　要申込み(1歳～未就学児) 子ども1人につき500円
- 申込み　2月1日(月)10:00から電話またはHPで(申込順)

※会場と講師をZoomでつないで開催します。

Jo-Shizu メンターバンク

女性会館発

オンライン個人面談始めます

これまで女性会館で対面で行っていた個人面談が、オンラインでも利用できるようになりました。メンターとは自身の経験を話してくれる身近な先輩女性のこと。個人面談ではキャリア、育児、介護、家族、病気など様々な経験を、メンターから直接聞くことができます。オンラインでより利用しやすくなった個人面談をこの機会にぜひご利用ください。

詳細はメンターバンクのHPをご覧ください。
https://joshizu.aicel21.jp/

問合先：メンターバンク事務局
☎054-207-9001

申込先・問合先	静岡市女性会館　〒420-0865 静岡市葵区東草深町3-18	tel 054-248-7330 hp https://aicel21.jp

会場は、記載がない限り、女性会館(アイセル21)になります。